

「腹膜透析導入時に貼付する消毒付きテープの 有効性を検討する看護研究」

この研究に関する科学的・倫理的妥当性については、当院の「臨床研究審査委員会」で審議され、その実施について病院長より許可を得ています。この研究の実施期間は、2024 年 4 月 11 日から 2024 年 11 月 15 日までを予定しています。

【研究の意義・目的】

以前、腹膜透析導入のために施行される手術（出口部作成術及びテンコフカテーテル挿入術）後に出口部異常をきたす方がみられていました。そのため当院では 2018 年より、手術後出口部に消毒付きドレッシングテープを貼付することにしました。上記のテープを導入してから 5 年が経過したため、このたび消毒付きドレッシングテープの有効性を過去の診療録から振り返り調べることにしました。この調査により、今後の出口部異常軽減に役立てたいと思っています。

【研究の対象】

小倉記念病院において 2020 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日の間に、手術（出口部作成及びテンコフカテーテル挿入術）を施行した患者さんを対象としています。

【研究の方法および情報の取扱い】

ご提供いただく情報は、年齢、性別、術式、出口部異常の有無、感染リスクとなりうる要因の有無、検査データ、出口部洗浄の有無、出口部消毒状況などです。これらの情報は、通常の診療で得られた診療記録より抽出しますので、新たに身体的及び経済的負担が生じることはありません。

得られた情報は、個人情報漏えいを防ぐため、お名前、住所などの個人を特定する情報を削除した上で研究用の番号で管理し、当院の研究責任者古賀弥生の責任の下、保管・管理されます。また、本研究の結果について学会発表や論文掲載等を行う際は、個人が特定できる情報が含まれないようにした上で、公表します。

【利益相反について】

この研究は特定の研究者や企業の利益の為にを行うものではありません。また、この研究により患者さんの利益（効果や安全性など）が損なわれることもありません。

【連絡・問い合わせ先】

この研究や個人情報の取扱いに関するご質問やご相談等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。またご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

なお、対象となる患者さんの情報がこの研究に用いられることについて、患者さん（も

しくは患者さんの代理人)にご了承いただけない場合には、研究対象としませんのでお申し出ください。その場合でも診療上の不利益が生じることはありません。

連絡先：

小倉記念病院 総合 11 階病棟 担当者 大石篤子、島崎美緒、山崎早百合
〒802-8555 北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号
電話 093-511-2000（代）